

## 自己評価報告書

平成23年 3月31日現在

機関番号：34419

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20510258

研究課題名（和文） 生殖と身体をめぐる“自然主義”の再検討

研究課題名（英文） Reexamination of “Naturalism” implicit in Reproduction and the Control of Human Body

## 研究代表者

大越 愛子 (OOGOSHI AIKO)

近畿大学・文芸学部・教授

研究者番号：00223777

研究分野：ジェンダー論

科研費の分科・細目：ジェンダー

キーワード：フェミニズム、生殖補助医療、代理出産、優生思想、生命倫理、ハンセン病、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

## 1. 研究計画の概要

(1) 過去の優生思想や女性蔑視に基づく、国家や社会運動家による身体管理の言説を分析し、科学あるいは「自然」概念を掲げたバイオポリティクスの歴史的形態を再検証する。

(2) 現代の生殖補助医療の進歩と普及に伴う、医療従事者やメディアで流布する言説を分析し、そこに働く規範としての「自然」概念の機能を分析する。

(3) 同じく現代の生殖補助医療の展開に対する、特にフェミニストたちの諸言説を整理・検討し、新しい時代にふさわしい「身体」概念の再構築を構想する。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 代表的なハンセン病療養施設2ヶ所を訪問し、入所者への聞き取りを集中的に行うと同時に、貴重な文献・資料を収集した。具体的には、「らい予防法」運用当時すでに科学的・医学的根拠を欠いていた強制隔離や断種・中絶の強要の生々しい実態を学ぶことで、国家政策と医学による身体管理における「自然主義」の、無批判な適用の危険性がいっそう明らかにされた。

また国際シンポジウムで戦時下・性奴隷化の被害女性の証言を聴取する等、資料収集や討議参加を通して、男性の性的欲望を「自然」視することで身体管理が合理化される過程を精緻に検証した。これについては中間報告的な出版・発表を行った。

(2) 助産師や性同一性障害の当事者への聞き取りを行うことで、医療現場や労働現場における「自然」言説の機能と矛盾の一端を解明した。また生殖補助医療の現場報告をはじめとする広範囲の文献資料を収集・検討した。

(3) 身体をめぐる理論的考察を深めている研究者を招いて各年度に研究会を実施し、哲学的・倫理的・ジェンダー論的等さまざまな視点から、「生殖」をめぐる論点の整理と理論的深化を図った。とりわけ森岡正博を提題者とした研究会では、倫理学者が近年重要視し、少子化対策などの社会政策にも通底する「世代間倫理」という理念が、いかに自然主義の観点から多くの問題点を含んでいるかを示唆され、本研究課題の解明の上で大きな理論的前進となった。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

<理由> 上述した通りに調査・資料収集を順調に進めていると同時に、研究過程を積極的に発表・公開している。

## 4. 今後の研究の推進方策

上記「研究計画の概要」に示されているように、本研究課題の射程は広範囲であると同時に、文明論的な深い知見も包含している。よって特に「計画」の(2)、(3)に関しては、最終年度に向けていっそう周到かつ精緻な資料分析に当たると同時に、より広い研究者の助力を仰ぐことが要請される。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

①大越愛子「子ども論ノート：ケアの社会倫理」、『渾沌』(近畿大学大学院文芸学研究科)、査読有、第7号、2010、101-113。

- ②大越愛子「子ども論ノート：愛育・疎外そして権利」、『渾沌』（近畿大学大学院文芸学研究科）、査読有、第6号、2009、97-110.
- ③井桁碧「見ようとしているか／聴こうとしているか 問い直す「ジェンダー視点」」、『部落解放』、査読無、第616号、2009、44-53.
- ④大越愛子「〈女性〉という環境」、『渾沌』（近畿大学大学院文芸学研究科）、査読有、第5号、2008、7-14.
- ⑤大越愛子「懐胎・分娩はいかなる労働か」、『倫理学研究』（関西倫理学会）、査読無、第38号、2008、3-24.
- 他2件

〔学会発表〕（計3件）

- ①大越愛子「哲学の観点からジェンダーを語る」、日本ホワイトヘッド・プロセス学会、2010.9.18、徳島文理大学.
- ②大越愛子「戦争と性暴力」、関西社会学会、2010.5.30、名古屋市立大学.
- ③大越愛子「アンティゴネーに対する哲学的応答」、第22回世界哲学会、2008.8.12、韓国・ソウル.

〔図書〕（計3件）

- ①（財）東海ジェンダー研究所編記念論集編集委員会編（安川悦子、大越愛子他）、明石書店、『越境するジェンダー研究』、2010、512.
- ②大越愛子・井桁碧編著、青弓社、『現代フェミニズムのエシックス』、2010、320.
- ③寺田俊郎、大越愛子・井桁碧他、梓出版、『グローバル・エシックスを考える』、2008、330.